

# 高千穂通りのコンセプトについて

---

はじめに

1. 高千穂通りの概要
2. 周辺道路と役割分担
3. 現状および利用実態
4. 高千穂通りをとりまく社会情勢の変化
5. 空間再編に向けたコンセプト

# はじめに

## ■ 高千穂通り周辺地区の道路空間利活用協議会 目的

協議会は、高千穂通り周辺地区において、多様なニーズに対応した安全で快適な道路空間を創出することにより、中心市街地の安心で円滑な移動や楽しく滞留できる空間の提供を目指すとともに、多様な主体が自由に活動・交流できる環境（仕組み）を創り、もって「まちなか」の価値向上に寄与することを目的とする。



高千穂通り周辺地区

# 1. 高千穂通りの概要 ①道路空間の構成

- 「市民に親しまれ、生活にうるおいを与える場として、都市の顔となる街路を**地域社会の象徴(シンボル)**」となるよう平成8年の道路空間の再整備(見直し)により現況に至る。
- 車道部18.0m、歩道部22.0mの**広幅員道路**であり、歩道部の基本構成は**歩道(3.0m)・自転車道(2.0m)・多目的スペース(6.0m)**となっている。
- 多目的スペースには**クスノキが植樹(楠並木)**されており、宮崎市景観計画にて**道路景観軸に指定**されている。

## ■再整備(見直し)内容

### 車道

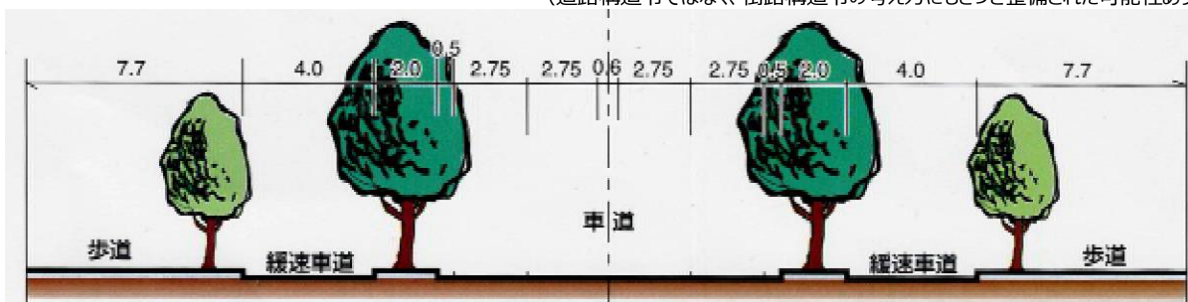
- 各交差点に右折車線を設置することにより、**円滑な交通の処理**ができるようになりました。
- 路肩が広くなり**バイク等が安全に通行**できるようになりました。

### 歩道

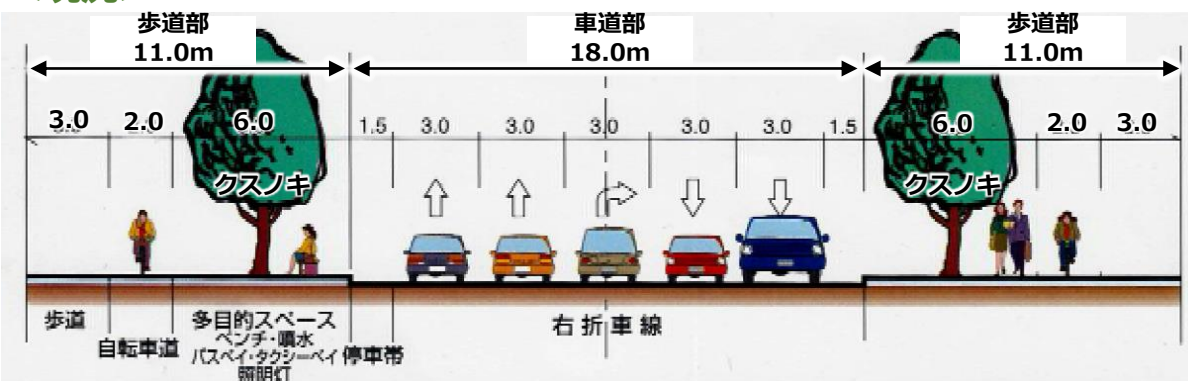
- 歩道空間が広がることにより、**歩く(人)、走る(自転車)機能**に加え、**憩いの空間**を作り、樹木、噴水、ベンチ等を置き、ゆとりと潤いを感じることができる道路になりました。
- 舗装材に自然石の御影石を使い、**風格があり落ち着いた雰囲気**になりました。
- バス停留所やタクシー待ち合い所を設けて、交通を円滑にし、さらに**バスやタクシーに安全に乗降**できるようになりました

### <平成8年以前>

※戦災復興等により築造された緩速車道を有する街路  
(道路構造令ではなく、街路構造令の考え方にもとづき整備された可能性あり)



### <現況>



# 1. 高千穂通りの概要 ②道路ネットワーク上の位置づけ

- 高千穂通りは、JR宮崎駅や沿道の事業所・商業施設を目的地とする交通のアクセス道路としての機能を有している。
- 宮崎市周辺では東西を結ぶ道路ネットワークが十分でないこともあり、**東西方向の主要な幹線道路**としての役割も担っている。

※ 高千穂通りを通過する車両のうち、宮崎駅周辺発着が全体の約6割、通過交通は約4割。

## ■ 宮崎市内の幹線道路ネットワーク ■ 高千穂通り通過車両の実態 (ETC2.0分析結果)



▼【宮崎駅周辺・平日】高千穂通り通行車両の発着地



▼【宮崎駅周辺・休日】高千穂通り通行車両の発着地



▼高千穂通り通行車両のOD内訳 (平日上位10地域)

	出発地	到着地	平日割合
1	市南西部	中心部駅西	9.7%
2	市南西部	市南西部	9.5%
3	中心部駅西	中心部駅西	6.8%
4	中心部駅西	市南西部	5.6%
5	中心部西部	中心部駅西	3.4%
6	市南部	中心部駅西	3.0%
7	市南西部	中心部東部	2.9%
8	中心部駅西	中心部西部	2.6%
9	中心部駅西	市南部	2.5%
10	市南西部	中心部駅東	2.4%

▼高千穂通り通行車両の中心部OD内訳

高千穂通りを通過した車両のうち、宮崎駅周辺を発着した交通は全体の約6割 (平日)、約5割 (休日)



# 1. 高千穂通りの概要 ②道路ネットワーク上の位置づけ

- ・高千穂通りは、あみーろーど・広島通りとともに、JR宮崎駅前から宮崎市の中心エリアでもある橋通りとを東西に結ぶ中心通りである。
- ・沿道には複数のオフィスビルがあり事業所や商業機能が集積。一方、あみーろーど・広島通りには飲食店等の商業店舗が立ち並び、休日には回遊する来街者も多数存在。
- ・『宮崎市まちなか活性化推進計画』にて、中心市街地区域を繋ぐまちなかの骨格軸とともに商業・業務エリアとして指定されている。



# 1. 高千穂通りの概要 ③最近の動向・取組み

- ・R2年秋の宮崎駅西口のアミュプラザの開業や、来街者の回遊性向上に向けたグリーンスローモビリティ(ぐるっぴー)の運用開始、NTTビルのリニューアル計画など、中心市街地の活性化の機運が高まっている。
- ・R3～R4年度に実施した社会実験により、「歩道の利活用により来街者数が増加すること」、「歩道空間での憩い空間の需要が高いこと」などを確認。一方で、「自転車と歩行者の混在を危惧する声」など道路空間の課題も明らかになった。

宮崎駅西口・アミュプラザ  
2020年開業



宮崎駅西口・ぐるっぴー  
2020年運用開始



NTTビルリニューアル計画



※計画図は現段階のイメージであり、今後変更の可能性あります。



## 社会実験 (イベントの開催 : 街中ピクニック)

○ 令和3年11月14日(日)

休日・昼・100m(NTT前)

11:00~17:00 : 路上販売、弾き語り



自主制作本の販売

路上ライブ

路上の店

○ 令和4年4月28日(木)

平日・夜・100m(NTT前)

17:00~20:00 : 弾き語り、飲食ブース、映像展示



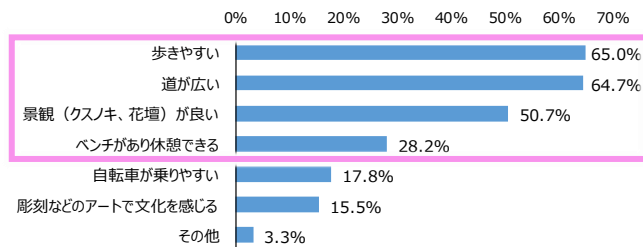
自主制作映画の上映

路上の店(夜間)

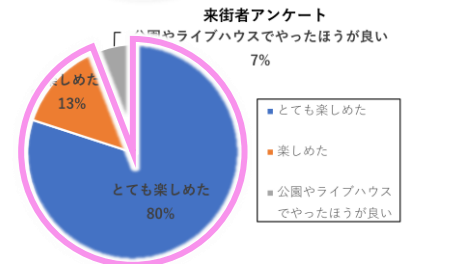
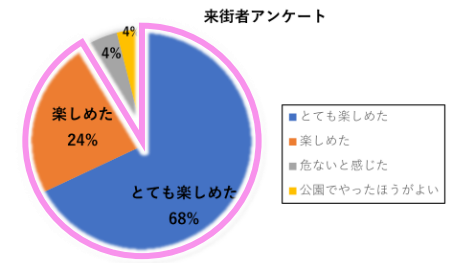
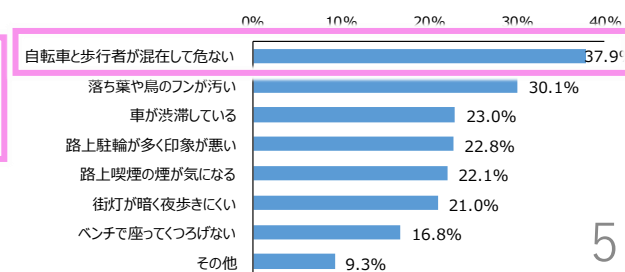
路上の店(夜間)

## 近隣事業所勤務者へのアンケート

高千穂通りの良いところ (複数回答可)



高千穂通りの悪いところ (複数回答可)



## 2. 周辺道路と役割分担

J R宮崎駅前と橋通りとを東西に結ぶ2つの中心通りを、沿道施設や利用実態をふまえ、それぞれ以下のように位置づける。

### 高千穂通りエリア

(クスノキがある多目的スペースのほか、自歩道や停車スペースを有する広幅員の幹線道路)

- ・ 幹線道路としての機能を維持しつつ、歩行者のほか自転車やバスなど複数のモードの交通機能を確保するための空間とともに、沿道で働く方や回遊する来街者の“憩い・交流”の空間とする。



### あみーろーど・広島通り・若草通りエリア

(沿道に飲食店をはじめ商業店舗が多数立地し、歩行者が安全で快適に歩けるコミュニティ道路)

- ・ J R宮崎駅前～橋通り間を回遊するための歩行空間であり、来街者が滞在する“賑わい”の空間とする。

### 3. 現状および利用実態

歩行者や自転車、自動車など様々な道路利用者が数多く利用している。

バスの運行本数も多く交通結節点機能を有しているほか、荷捌きスペースとしても活用されている。

No	現状・利用実態
1	歩行者の通行量も多く、休日には“あみーろーど”とともにJR宮崎駅～橋通り間を回遊している歩行者もみられる
2	平日/休日とも自転車利用が多く、歩道部の幅員が広いこともあり、北側・南側とも歩道上を双方向に通行している
3	多目的スペースにて平日夜や休日にイベント等が開催され、 <b>交流（溜まり・賑わい）の空間としてのニーズがある</b> ※各種社会実験：街中ピクニック6回、フラワーマーケット、フードトラックピクニック3日間
4	沿道にクスノキが植樹された宮崎市のシンボルロードであり、『宮崎市景観計画』では <b>道路景観軸</b> に、『宮崎市まちなか活性化推進計画』では、 <b>まちなかの骨格軸(緑の回廊)</b> に指定されている
5	<b>東西方向の主要な幹線道路として機能しており、朝夕には交通が集中し渋滞が発生している（主要渋滞箇所）</b>
6	平日には約300本/日の路線バスが走行している
7	『宮崎市地域公共交通網形成計画』では <b>通りそのものを交通結節点と捉え</b> 、バス等の利用促進に取り組んでいる
8	<b>平日は荷捌き車両のほか一般車両の駐停車が多数存在している(但し、平日12時や17時以降、休日には荷捌きの停車はほとんどみられない。)</b>



# 4. 高千穂通りをとりまく社会情勢の変化

➤ 道路空間の再整備（H8年）から約25年経過し、「高千穂通り」をとりまく社会情勢に変化が生じている

- ・ 景観法制定（H16）・イベント会場として活用（まつり宮崎 H26～）・自転車通行ルール（道路交通法改正 H27）
- ・ ウォーカブルシティ推進都市登録（宮崎市 R元）・花みちプロジェクト活動開始（協働）

➡ 宮崎市では、『車中心から“人中心”の空間へ』と再構築し、ウォーカブルなまちづくりを推進

## ■ウォーカブルなまちづくり（中心市街地の活性化）の推進

＜宮崎市内における様々な取り組み＞



## ★＜周辺店舗(NTT広島ビル) 開発プロジェクト＞



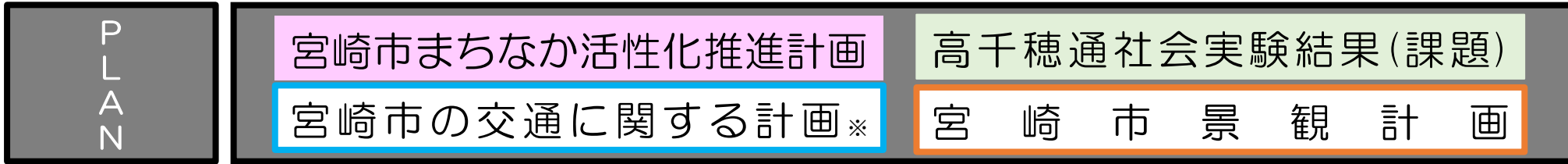
※計画図は現段階のイメージであり、今後変更の可能性あります。



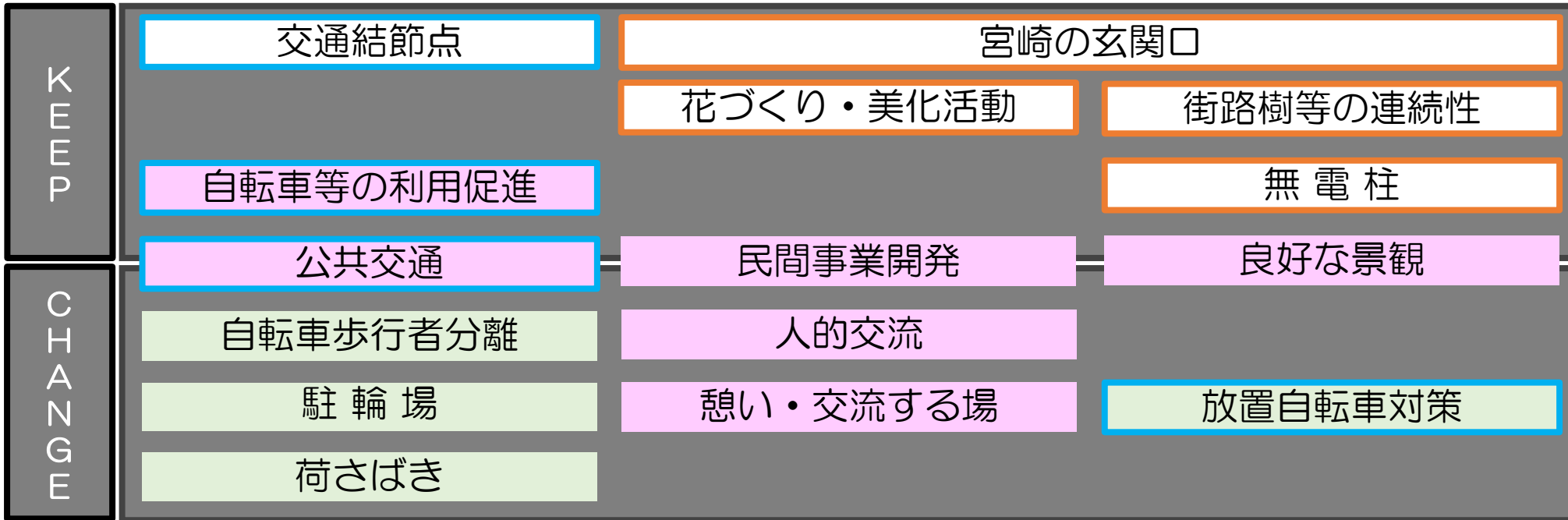
道路空間再編を検討する必要性

# 5. 空間再編に向けたコンセプト

## ■ キーワード抽出『関連計画における「高千穂通り」に求める役割』



※ 宮崎市地域公共交通網形成計画、宮崎市自転車活用推進計画、宮崎市駐車場整備計画



安全・安心

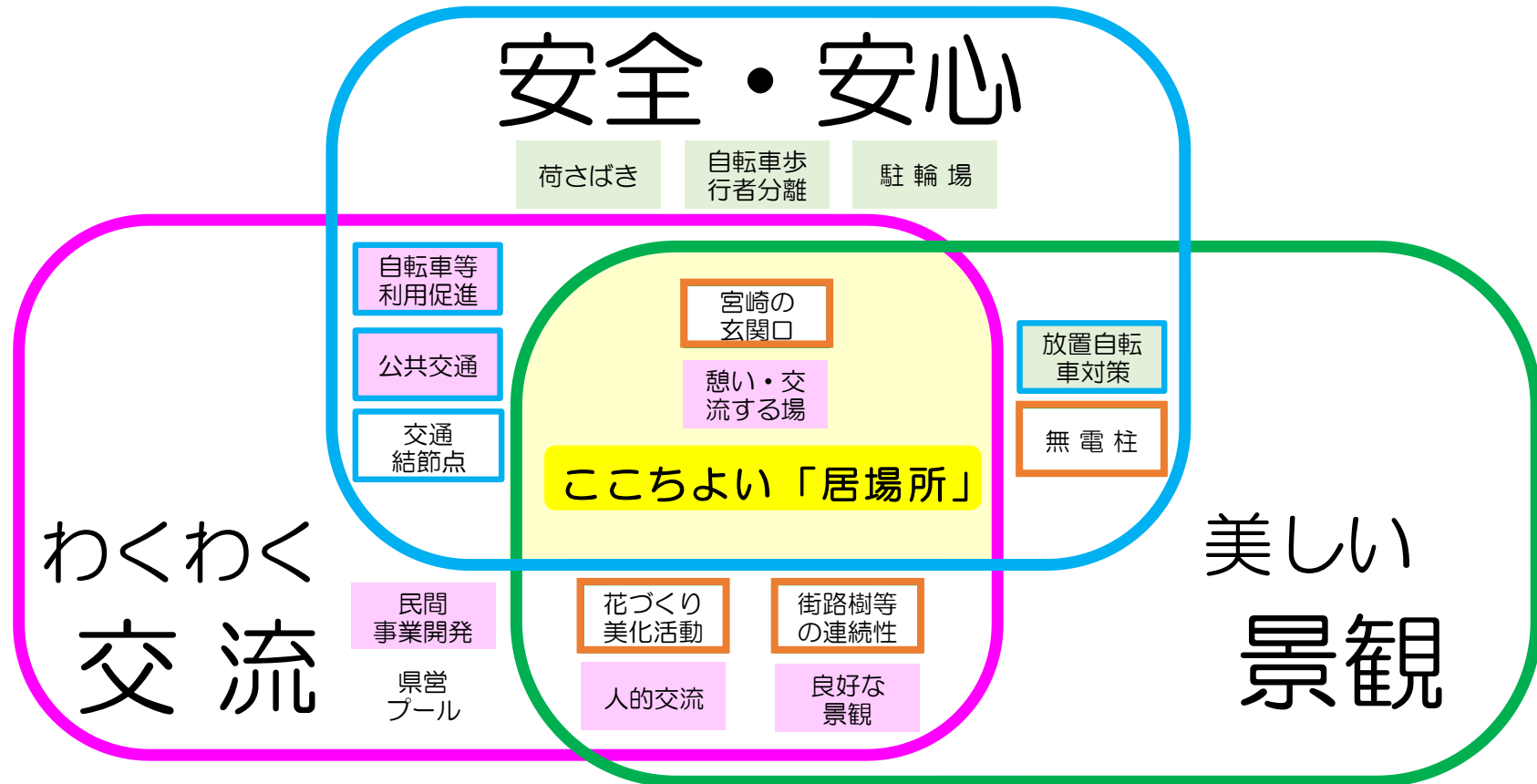
わくわく・交流

美しい景観

# 5. 空間再編に向けたコンセプト

- 宮崎市まちなか活性化推進計画、高千穂通社会実験、宮崎市景観計画、宮崎市交通関連計画などをふまえると、「高千穂通り」には“安全・安心”、“わくわく・交流”、“美しい景観”といった様々な役割が求められている。

## ■ 関連計画のキーワードをもとにした「高千穂通り」に求められる役割整理



# 5. 空間再編に向けたコンセプト

- 社会実験や利用状況をふまえ、**新たなコンセプト**のもと道路空間の再編成を進めていく。

## コンセプト案

### 「通る」から「居場所」となる高千穂通りへ ～“人”が“安心してくつろぐ空間”の創出～

#### ○交流が生まれる空間

- 沿道と一体となって多様な交流が生まれ、憩うことのできる空間を確保します
- 多くの人が協働し、楽しめる場を提供します

#### ○歩きたくなる空間

- 安全、安心で歩きやすい歩行環境を形成します
- 多様な交通手段が共存できる空間を創出します

#### ○花とみどりに包まれた居心地のよい空間

- 緑陰の連続性によって魅力ある緑景観を形成します
- 新しい顔としての宮崎らしい景観を創出します



宮崎・高千穂通り



松山・花園町通り



大阪・御堂筋